

<平成 30 年 4 月 21 日改訂>

(下線部は変更箇所)

新（変更後）	旧（変更前）
<p>外国為替保証金取引説明書(外貨ネクストネオ)</p> <p>I. 外国為替保証金取引のリスクおよび委託財産の管理方法について</p> <p>1. ～7 (略)</p> <p>8. お客様と当社との取引は相対取引であり、お客様の注文に対しては当社が相手方となって注文を成立させます。また、当社は、外国為替保証金取引のリスクをヘッジする目的で以下の金融機関等を相手方としてカバー取引を行っております。</p> <p>(略)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>(略)</p> <p>III. 取引説明ガイド</p> <p>1. ～12 (略)</p> <p>13. 注文の種類 (略)</p> <p>【オプション注文機能】</p> <p>1. (略)</p> <p>2. スピード注文 (略)</p> <p>※スピード注文の発注に際しては、そのスピード注文が新規注文（IF）として約定した場合の成立ポジションに対する、Done（指値・ストップ・トレール）またはOCO（指値・ストップもしくは指値・トレールの組み合わせ）の決済注文を同時に発注する機能の使用可否が選択できます（「スピード注文」画面では「決済注文を同時に発注する」、「スピード注文2」画面では「決済同時発注」と表記）。これら決済注文のうち指値・ストップにおいては、指定レートに代えてレート差（決済指値幅・決済ストップ幅）を設定します。この決済注文が有効となった際には、スピード注文（IF）発注時のレートに当該レート差を加減した値を指定レートとして適用するため、スピード注文（IF）の約定値からのレート差とは一致しない場合があります。なお、「スピード注文」画面および「スピード注文2」画面における両建て設定が有効でないときに限り、スピード注文（IF）が決済注文となり、これと同時に発注した決済注文（Done または OCO）は自動的に取消となる場合があります（「23. 両建て取引」を参照）。</p>	<p>外国為替保証金取引説明書(外貨ネクストネオ)</p> <p>I. 外国為替保証金取引のリスクおよび委託財産の管理方法について</p> <p>1. ～7 (略)</p> <p>8. お客様と当社との取引は相対取引であり、お客様の注文に対しては当社が相手方となって注文を成立させます。また、当社は、外国為替保証金取引のリスクをヘッジする目的で以下の金融機関等を相手方としてカバー取引を行っております。</p> <p>(略)</p> <p><u>※平成 30 年 3 月 24 日付改訂に係る本項および次項の改訂（金融機関名「株式会社三菱 UFJ 銀行」）につきましては、同年 4 月 1 日からの適用開始となります。なお、当該適用開始日の前日までの間は、当該金融機関名につき「株式会社三菱東京 UFJ 銀行」と読み替えるものとします。</u></p> <p>(略)</p> <p>III. 取引説明ガイド</p> <p>1. ～12 (略)</p> <p>13. 注文の種類 (略)</p> <p>【オプション注文機能】</p> <p>1. (略)</p> <p>2. スピード注文 (略)</p> <p>※スピード注文の発注に際しては、そのスピード注文が新規注文（IF）として約定した場合の成立ポジションに対する、Done（指値・ストップ・トレール）またはOCO（指値・ストップもしくは指値・トレールの組み合わせ）の決済注文を同時に発注することができます。これら決済注文のうち指値・ストップにおいては、指定レートに代えてレート差（決済指値幅・決済ストップ幅）を設定します。この決済注文が有効となった際には、スピード注文（IF）発注時のレートに当該レート差を加減した値を指定レートとして適用するため、スピード注文（IF）の約定値からのレート差とは一致しない場合があります。なお、「スピード注文」画面および「スピード注文2」画面における両建て設定が有効でないときに限り、スピード注文（IF）が決済注文となり、これと同時に発注した決済注文（Done または OCO）は自動的に取消となる場合があります（「23. 両建て取引」を参照）。</p>

※「スピード注文2」画面においては、取引レートのスプレッドが所定の値（スプレッド許容値）を上回った場合に限り、同画面上で注文（全決済を除きます）を発注できなくする設定の使用可否を選択できます（スプレッドフィルタ）。スプレッド許容値は、「注文・動作などの設定」画面の「スピード注文2設定」にて通貨ペア毎に設定できます。なお、本項冒頭の成行・マーケット注文の説明において記載しております通り、約定値には実際に約定処理が行われる時点の取引レートを適用するため、スプレッドフィルタを通して注文発注された場合であっても、結果としてスプレッド許容値を上回るスプレッド提示下の取引レートで約定する場合があります。

※「スピード注文2」画面からのスピード注文は、発注ボタン上でマウスを押したタイミングで注文を発注する機能が利用できます（通常は他の注文発注画面と同じく、マウスを押して放したタイミングで発注されます）。「注文・動作などの設定」画面の「スピード注文2設定」にて使用可否を選択できます。

3. ドテン注文

選択した通貨ペアにつき、全保有ポジションの決済注文、および当該保有ポジションと同一Lot数・反対の売買区分のポジションを新たに保有できる新規注文を、各種確認画面の表示を一切省略して一度に発注でき、かつ決済・新規ともに同一の約定値が適用される機能のことで、取引画面内にある「スピード注文2」画面にてご利用いただけます。

ドテン注文の使用可否は、「注文・動作などの設定」画面の「スピード注文2設定」にて設定できます（初期設定では無効となっています）。この設定が有効なときに「スピード注文2」画面にて「ドテン」ボタンをクリックすると、対象通貨ペアの保有ポジションと反対の売買区分、かつ発注時点の当該ポジション残Lot数のちょうど2倍の成行またはマーケット注文が発注されます。したがって約定の条件を満たしたときには、原則として発注時の保有ポジションと同じLot数、かつ反対の売買区分のポジションを新たに保有することになります。ドテン注文にはスプレッドフィルタが、またマーケット注文の選択時にはスリッページ許容幅設定がそれぞれ適用されます。「スピード注文2」画面の「決済同時発注」は、有効となっていた場合であってもドテン注文には適用されません。なお、ドテン注文は両建て設定にかかわらず発注できますが、保有ポジションの一部ないし全部が両建て状態となっている通貨ペアでは発注できません。また、発注時点における保有ポジションの残Lot数が2,500Lotを上回っている通貨ペアでは発注できません。

※ドテン注文の発注からその注文情報が当社サーバに到達するまでの間に、ロスカットや指値注文の約定等によって対象通貨ペアのポジション残Lot数に変化が生じた場合には、発注時点のポジション残Lot数と、新たに成立するポジションのLot数が一致しないことがあります。たとえば、発注直後にロスカットにより対象通貨ペアの全保有ポジションが決済され、かつドテン注文が約定の条件を満たした場合には、ドテン注文の全Lot数が新規注文として約定します。

※前述の通り、ドテン注文の発注に際しては確認画面が一切表示されません。そのため誤って「ドテン」ボタンをクリックしてしまった場合には、スピード注文やワンクリック注文と同様に意図しない注文が発注されますのでご注意ください。意図しない注文を防止するために、「注文・動作などの設定」画面にてドテン注文の使用可否を設定できるほか、「スピード注文2」画面においては同ボタンを含む各種発注ボタンをロックすることが可能です。

4. チャート上からの注文機能
(略)

5. 連続注文機能
(略)

※「スピード注文2」画面においては、取引レートのスプレッドが所定の値（スプレッド許容値）を上回った場合に限り、同画面上でスピード注文を発注できなくする設定の使用可否を選択できます（スプレッドフィルタ）。スプレッド許容値は、「注文・動作などの設定」画面の「スピード注文2設定」にて通貨ペア毎に設定できます。なお、本項冒頭の成行・マーケット注文の説明において記載しております通り、約定値には実際に約定処理が行われる時点の取引レートを適用するため、スプレッドフィルタを通して注文発注された場合であっても、結果としてスプレッド許容値を上回るスプレッド提示下の取引レートで約定する場合があります。

※「スピード注文2」画面からのスピード注文は、発注ボタン上でマウスを押したタイミングで注文を発注する機能が利用できます（通常は他の注文発注画面と同じく、マウスを押して放したタイミングで発注されます）。「注文・動作などの設定」画面の「スピード注文2設定」にて使用可否を選択できます。

(新設)

3. チャート上からの注文機能
(略)

4. 連続注文機能
(略)

6. 注文設定

リッチアプリ取引画面内の「注文・動作などの設定」画面においては、注文に関する以下の各項目につき、初期設定が可能です。

[1]注文初期値設定

注文発注画面を開いた際に適用される設定であり、通貨ペア共通で適用されます。両建ての可否、有効期限、執行条件（新規、決済、スピード注文）のそれぞれが設定できます。

[2]レート表からの注文方法

レート表をクリックした際にどの注文方式を選択するかの設定であり、通貨ペア共通で適用されます。「通常注文」「マーケット注文」「ワンクリック注文」「スピード注文」「スピード注文2」のいずれかの中から選択できます。

※本設定の適用には、レート表を一旦閉じた上で開き直す必要があります。設定時点ですでに開いていたレート表には本設定は適用されませんのでご注意ください。

[3]注文動作設定

注文発注前後における画面動作の設定であり、通貨ペア共通で適用されます。発注後に注文ダイアログを残すかどうか（通常・マーケット別）、確認画面表示の可否（通常・全決済別）、発注または約定直後の受付メッセージ表示の可否、決済の指値・ストップ注文（スピード注文と同時に発注するものを除きます。本項「2. スピード注文」を参照）において「指定レート」欄に初期表示される数値の算出に用いる基準レートの選択（現在レートもしくは約定価格）、ワンクリック決済の使用可否、スピード注文のショートカット使用可否のそれぞれが設定できます。

[4]通貨ペア毎の各種初期値

各通貨ペアにおいて、注文発注画面を開いた際に表示される初期値設定です。基準 Lot 数、トレール幅、スリッページ、指値幅・ストップ幅（新規の指値・ストップ注文における「指定レート」欄の初期表示レートと基準レートとの差）、決済指値幅・決済ストップ幅（決済の指値・ストップ注文における「指定レート」欄の初期表示レートと基準レートとの差）がそれぞれ設定できます。うち基準 Lot 数はワンクリック注文およびスピード注文に、スリッページはスピード注文およびドテン注文（いずれもマーケット注文のみ）に、トレール幅、決済指値幅・決済ストップ幅はスピード注文と同時に発注する決済注文に対してもそれぞれ適用されます。

[5]スピード注文2設定

「スピード注文2」画面、および同画面からの注文に限り適用される設定です。同画面での「スプレッドフィルタ」に適用される通貨ペア毎のスプレッド許容値、取引レートのスプレッドがスプレッド許容値を上回っているときの同画面スプレッド表示欄の色変更の適用可否、同画面の発注ボタン上でマウスを押したタイミングで注文を発注する機能の使用可否、ドテン注文の使用可否のそれぞれが設定できます。

（略）

14. 注文状況について

取引画面に表示される注文状況は以下のとおりです。

種類	状況説明
注文中	指値注文、ストップ注文、トレール注文、IFDの「IF」注文、OCOの新規注文、IFOの「IF」注文が執行中（未約定）である時の表示
受付中（変更）	「注文中」となっている注文の一部条件を変更した時の表示
成立（新規）	約定した新規注文
成立（決済）	約定した決済注文

5. 注文設定

リッチアプリ取引画面内の「注文・動作などの設定」画面においては、注文に関する以下の各項目につき、初期設定が可能です。

[1]注文初期値設定

注文発注画面を開いた際に適用される設定であり、通貨ペア共通で適用されます。両建ての可否、有効期限、執行条件（新規、決済、スピード注文）のそれぞれが設定できます。

[2]レート表からの注文方法

レート表をクリックした際にどの注文方式を選択するかの設定であり、通貨ペア共通で適用されます。「通常注文」「マーケット注文」「ワンクリック注文」のいずれかの中から選択できます。※本設定の適用には、レート表を一旦閉じた上で開き直す必要があります。設定時点ですでに開いていたレート表には本設定は適用されませんのでご注意ください。

[3]注文動作設定

注文発注前後における画面動作の設定であり、通貨ペア共通で適用されます。発注後に注文ダイアログを残すかどうか（通常・マーケット別）、確認画面表示の可否（通常・全決済別）、発注または約定直後の受付メッセージ表示の可否、決済の指値・ストップ注文（スピード注文と同時に発注するものを除きます。本項「2. スピード注文」を参照）において「指定レート」欄に初期表示される数値の算出に用いる基準レートの選択（現在レートもしくは約定価格）、ワンクリック決済の使用可否、スピード注文のショートカット使用可否のそれぞれが設定できます。

[4]通貨ペア毎の各種初期値

各通貨ペアにおいて、注文発注画面を開いた際に表示される初期値設定です。基準 Lot 数、トレール幅、スリッページ、指値幅・ストップ幅（新規の指値・ストップ注文における「指定レート」欄の初期表示レートと基準レートとの差）、決済指値幅・決済ストップ幅（決済の指値・ストップ注文における「指定レート」欄の初期表示レートと基準レートとの差）がそれぞれ設定できます。うち基準 Lot 数はワンクリック注文およびスピード注文に、スリッページは、スピード注文（マーケット注文のみ）に、トレール幅、決済指値幅・決済ストップ幅はスピード注文と同時に発注する決済注文に対してもそれぞれ適用されます。

[5]スピード注文2設定

「スピード注文2」画面、および同画面からのスピード注文に限り適用される設定です。同画面での「スプレッドフィルタ」に適用される通貨ペア毎のスプレッド許容値、取引レートのスプレッドがスプレッド許容値を上回っているときの同画面スプレッド表示欄の色変更の適用可否、同画面の発注ボタン上でマウスを押したタイミングで注文を発注する機能の使用可否のそれぞれが設定できます。

（略）

14. 注文状況について

取引画面に表示される注文状況は以下のとおりです。

種類	状況説明
注文中	指値注文、ストップ注文、トレール注文、IFDの「IF」注文、OCOの新規注文、IFOの「IF」注文が執行中（未約定）である時の表示
受付中（変更）	「注文中」となっている注文の一部条件を変更した時の表示
成立（新規）	約定した新規注文
成立（決済）	約定した決済注文

成立（ドテン）	ドテン注文により発注され約定した決済注文および新規注文、または両建て「なし」設定下で約定したドテン注文以外の注文で、同一通貨ペアかつ反対の売買区分の保有ポジションの残 Lot 数を上回っていたために、残 Lot 数と同数量が決済注文、超過した分が新規注文となった時の表示
ロスカット	ロスカットの執行に伴う、保有ポジションの強制決済注文
待機中	IFD 注文の「Done」、または IFO 注文の「OC01」「OC02」で、ともに「IF」注文が約定していないため未執行の状態となっている時の表示
待機中（変更）	「待機中」となっている注文の一部条件を変更した時の表示
取消	お客様が取消をされた注文、またはロスカットの執行に伴い強制取消となった注文
期限切れ	指定した有効期限までに約定しなかった注文
不成立	指定したスリッページ幅を超えて不利な方向にスリップしたため約定しなかったマーケット注文、その他執行条件にかかわらず当社サーバ上における処理の結果、「取消」「期限切れ」以外の理由により有効でなくなった注文

15. ～17 (略)

18. 決済注文の方式

(1) ～ (3) (略)

(4) 対象ポジションを指定しない決済注文方式

本方式は、両建て取引の可否設定が「なし」の状態（「23. 両建て取引」を参照）、かつ既存ポジションと同一通貨ペアかつ反対の売買区分の注文を発注する場合に限り適用されます。このとき決済対象となるポジションの優先順位は、必ず「成立日時の古い順」となります。優先順位の変更、および特定ポジションを決済対象から除外する設定はできません。

※ワンクリック注文により発注された注文が、既存ポジションに対する決済注文として約定した場合には、両建て取引の可否設定にかかわらず常に本方式が適用されます。

※「スピード注文2」画面よりドテン注文として発注された決済注文には、常に本方式が適用されます。通常はその約定により選択した通貨ペアの全ポジションが決済されますが、たとえばドテン注文の発注からその注文情報が当社サーバに到達するまでの間に、新規指値注文等の約定により対象通貨ペアのポジション残 Lot 数が発注時点の2倍を上回る数量となった場合において、結果として当該ドテン注文の全 Lot 数が決済注文として約定した（対象通貨ペアの一部ポジションが決済されずに残った）ときは、発注時点で存在したポジションが優先して決済されます。

以下省略

以上

成立（ドテン）	両建て「なし」設定下で約定した注文が、同一通貨ペアかつ反対の売買区分の保有ポジションの残 Lot 数を上回っていたために、残 Lot 数と同数量が決済注文、超過した分が（ドテンの）新規注文となった時の表示
ロスカット	ロスカットの執行に伴う、保有ポジションの強制決済注文
待機中	IFD 注文の「Done」、または IFO 注文の「OC01」「OC02」で、ともに「IF」注文が約定していないため未執行の状態となっている時の表示
待機中（変更）	「待機中」となっている注文の一部条件を変更した時の表示
取消	お客様が取消をされた注文、またはロスカットの執行に伴い強制取消となった注文
期限切れ	指定した有効期限までに約定しなかった注文
不成立	指定したスリッページ幅を超えて不利な方向にスリップしたため約定しなかったマーケット注文、その他執行条件にかかわらず当社サーバ上における処理の結果、「取消」「期限切れ」以外の理由により有効でなくなった注文

15. ～17 (略)

18. 決済注文の方式

(1) ～ (3) (略)

(4) 対象ポジションを指定しない決済注文方式

本方式は、両建て取引の可否設定が「なし」の状態（「23. 両建て取引」を参照）、かつ既存ポジションと同一通貨ペアかつ反対の売買区分の注文を発注する場合に限り適用されます。このとき決済対象となるポジションの優先順位は、必ず「成立日時の古い順」となります。優先順位の変更、および特定ポジションを決済対象から除外する設定はできません。

※ワンクリック注文により発注された注文が、既存ポジションに対する決済注文として約定した場合には、両建て取引の可否設定にかかわらず常に本方式が適用されます。

（新設）

以下省略

以上